

海外英語演習

責任者・コーディネーター	外国語学科英語分野 柳谷 千枝子 講師		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野		
対象学年	1・2・3・4	区分/単位数	演習/2単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

英語圏の国に短期間滞在し、大学または語学学校の教師による集中的な語学の授業を受ける。授業においては、日常会話に役立つ表現や文法事項などをテーマに扱う。そして、英語を聴く訓練を通して話す能力を伸ばし、将来医師・歯科医師・薬剤師・看護師として活躍する際に必要な英語の総合力を培う。図書館、コンピューター室等の施設を利用することができ、いろいろな国々の人々と共にアクティビティに参加することもある。また、英語圏の国の文化、歴史に対する理解を深めるために、さまざまな名所旧跡を見学する。外国での生活から得た経験を通して豊かな人間性を養い、また国籍にかかわらず相手の立場を理解し、臆することなく自己を表現することによって友好的な国際的人間関係を築くことが望ましい。

・教育成果(アウトカム)

教養教育に求められる豊かな人間性の涵養の一環として行う。
 1. 海外での生活体験を通して異文化に触れることで多様な価値観を学び、幅広い視点から人および物事を見ることによって自立の精神を養うとともに、能力・感性を培える。
 2. 英語研修によって日本語を再認識することで、その能力向上を図るとともに、将来必要とされる患者との相互理解、信頼関係構築のための会話能力開発ができる。(ディプロマ・ポリシー:9)

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

9	変動する国際社会にあつて、看護職者の役割を国際的な視野で認識できる。
---	------------------------------------

・到達目標(SBO)

1. 現地の人と英語で意思の疎通ができる。
2. 教室では間違いをおそれず積極的に発言できる。
3. 日本人同士で集まることなく各国の人たちと積極的に交流することができる。

・成績評価方法

【総括的評価】演習態度*(70%)・レポート(30%)

*演習態度の具体的な評価方法について、参加者募集説明会及び参加者対象説明会で説明する。

【形成的評価】研修先の語学学校で実施されるテストなどで学習の成果を確認できるが、その結果は科目成績に反映されない。

・特記事項・その他

研修先: 英語圏の国(例: イギリス・オーストラリア等)

期間: 3月の予定

宿泊施設: ホームステイ等

参加希望者は研修内容を理解するために、参加者対象説明会及び最終説明会(各1時間程度)に参加する必要がある。研修に関するレポート(感想文)については、後日、個別にフィードバックする。